

地球・環境総合工学概論
Global Architecture

教員名	環境・エネルギー工学科，地球総合工学科全教員							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	06-6879-7583							
E-MAIL アドレス								
履修対象	環境・エネルギー工学科，地球総合工学科（1年次）							
単位	2	セメスター				1		
受講条件	特になし							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	地球、地域、都市の各レベルでの環境と人間の関わりを深く理解するとともに、健全な環境を維持し、より豊かな社会を創造していくための総合工学の基礎を学ぶ。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	◎		○					○
授業計画・概要	テーマ		概要					学習・教育目
	序論（1回）		講義の目的と概要、学科の教育の中での位置づけに関する概要を理解する。（包括1回）					A
	地球・都市と人間（3回）		人間と地球、地域、および都市との関わりと、そこに生じているさまざまな問題について基本的な知識を身に付ける。また、地球規模の、あるいは海上や都市などの災害と対策について基本的な知識を身に付ける。（包括3回）					A C H
	環境とダイナミズム（3回）		地球環境をシステムとして捉え、資源とエネルギーといった人間活動との関連性を踏まえて、地球ダイナミズムの基本的な知識を身に付ける。（包括3回）					A
	国土空間と都市空間（3回）		我々が生活している空間の特性を国土～都市レベルで概説するとともに、その間の人とモノの流れをサポートする交通システムと社会・生活活動との関わりについて基本的な知識を身に付ける。（包括3回）					A C H
	空間・環境の保全と創造（3回）		都市、地域、地球の環境保全・修復のための施策と技術、健全で豊かな国土・都市空間の創造についての基本的な知識を身に付ける。（包括3回）					A C H
	学期末試験（1回）		（包括1回）					A C H
教科書	特定の教科書は用いない							
参考図書・文献等								
成績評価方法・評価基準	学期末試験および毎回のレポートで評価する。配点は学期末試験 60 点、毎回のレポート 20 点とし、争点で 60 点以上を合格とする。							
オフィスアワー	随時 e-mail にて対応							
コメント								